

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
210021013	未来へつなぐアウトリーチ Outreach activity for the future	家政学部全教員		共通	1	選択	2年前期

科目の概要

この授業は家政学部の教育目標であるpisa型学力・四大精神・社会人基礎力を実践する場としても位置付けています。「未来へつなぐアウトリーチ」で修得した知識・技能をもとに、1年生が取り組む「未来へつなぐアウトリーチ」を円滑に行う支援をします。未来へつなぐアウトリーチでは、1年生のボランティア活動の目的・目標を達成するために、チームワークを引き出し、最大の成果を生み出す支援をするファシリテーションに取り組みます。1年次に修得した家政学の視点からpisa型学力・四大精神・社会人基礎力をさらに発揮します。

学修内容	到達目標
<p>実習の目的・目標を達成するために、1年生が作成した実施計画書より作業の段取り、進行の手順を学び、円滑な作業工程の図式を1年生に提示する。</p> <p>実習の目的・目標を達成するために、作業工程どりに進んでいるか、チェックの必要性を学び、1年生の作業を効率よく進める支援をする。</p> <p>グループ活動の成果を上げる支援として、コミュニケーション能力が必要であることを学び、メンバー相互のコミュニケーションを支援する。</p> <p>実習の目的・目標を達成するために、pisa型学力、社会人基礎力、四大精神が必要な能力であることを認識して実施する。</p> <p>プレゼンテーションスキルを学び、1年生に支援する。</p>	<p>グループメンバーの意見を引き出し、論点を整理し、問題解決への調整を図ることができる。</p> <p>作業手順を図式化して、1年生の実習を円滑に進めるPDCAサイクルの支援ができる。</p> <p>コミュニケーションのスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解読等を実践することができる。</p> <p>1年次に修得したpisa型学力、社会人基礎力、四大精神を更に発揮できる。</p> <p>プレゼンテーションスキルを活用して、1年生の成果発表を支援することができる。</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 実習の目的・目標を自己のものとして、教員、活動先の方から言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行することができる。
	働きかけ力 実習の目的・目標に向かって「1年生の行動を支援する」呼びかけ、1年生に影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力 実習の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けることができる。1年生にも影響力を与える行動ができる。
考え抜く力	課題発見力 1年生の実習目的・目標の達成に向けて、家政学の視点に立って、現状分析・問題点を抽出し、何が課題であるか明らかにできる。
	計画力 1年生が提案する複数の実施計画案から現実可能な計画案になっているか明らかにできる。
	創造力 1年生が提案する複数の実施計画案から現実可能な計画案になっているか明らかにできる。
チームで働く力	発信力 1年生の活動を円滑に進めるために、意見・考え・提案を分かりやすく、1年生メンバー、ボランティア先の方に伝えることができる。
	傾聴力 1年生メンバー、ボランティア先の方の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、相手の言いたいことを整理し、確認しながら聴くことができる。
	柔軟性 1年生、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても、内容を整理し、どうしたら同じ方向で前進できるか調整しようとする事ができる。
	状況把握力 1年生の支援者であるという立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握できる。
	規律性 活動の中で、人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守り行動ができる。
ストレスコントロール力 活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる行動がとれている。	

テキスト及び参考文献

テキスト：毎回、配布するワークシートが、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
参考文献：無限の可能性・学泉ノート。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：

- ・家政学部で学ぶ科目評価の社会人基礎力（学修態度）すべてに関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の実習で修得した知識・技能をワークシートで振り返り、1年生の実習をシミュレーションしておきます。 ・家政学の知識を活用して、課題解決とは何か、いつも疑問に持ち実習に取り組みます。 ・社会人基礎力の発揮はセルフチェックシートを常に活用します。 ・実習を円滑にするスキルは、コミュニケーションが重要です。相手に伝える話し方を意識して、日常生活を送ります。 ・四大精神、社会人基礎力を意識して、正課内外でも実践します。実習を円滑に進めるには、何が必要か、実験実習、サークル活動などを観察します。 ・社会人基礎力の12の能力要素について、自己の達成レベルを明確にして行動します。 ・衣食住について、1日1つ、疑問を持ち、友達と意見交換します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で決めたこと、メンバー間で決めたことは、必ず守りましょう。 ・ボランティア先の方々に迷惑をかけない行動をしましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		60		①	ワークシートの記述と実習時の実践より評価します。 (評価方法) 毎週の实習でグループメンバーの意見を引き出し、論点を整理し、問題解決への調整を図ることができる記述である。さらに実践もできている。
						②	1年生が作成する実施計画書の図式化ができています。図式化を基に実習を円滑に進めるPDCAサイクルの支援もできている。コミュニケーションのスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等について実践したことがワークシートに記述され、実践もできている。
						③	1年次に修得したpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神能力を更に発揮していることがワークシートに記述され、実践もできている。
						④	1年生の成果発表を支援することもできている。 (評価) S: - 全て対応している A: - の3つは対応している。 B: - の2つは対応している。 C: - の1つは対応している。 F: ワークシートへの記述のみ、実践がされていない。
						⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		30		①	・1年生が成果発表するにあたり、プレゼンテーションスキルを活用して支援することができている。ルーブリックで評価します。 (評価方法) pisa型学力について、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。 社会人基礎力について、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。		
				②	コミュニケーションについて、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。		
				③	1年生へプレゼンテーション技法の支援ができている。 (評価) S: - 全て対応している A: - の3つは対応している。 B: - の2つは対応している。 C: - の1つは対応している。		
				④			
				⑤	F: すべて対応していない。		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	評価方法 以下の項目をワークシートに記述している。 <主体性> ・1年生の実習の目的・目標を達成するために、一歩でも前に進めようと積極的に取り組んでいる。 <働きかけ力> ・実習の目的・目標に向かって1年生の行動を支援する呼びかけ、1年生に影響を与えていることがわかる。 <実行力> ・実習の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動ができている。そして、1年生にも影響力を与える行動ができる。 ・1年生の実習目的・目標の達成に向けて、家政学の視点に立ち、現状分析・問題点を抽出し、何が課題であるから明かにできている。 <計画力> ・1年生が提案する複数の実施計画案から現実可能な計画になっている。 <創造力> ・1年生の活動で発生する課題解決に対して、固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、自由な発想でコミュニケーション、行動がとれるように支援することができている。 <発信力> ・1年生の活動を円滑に進めるために、意見・考え・家政学の視点に立ち、現状分析・問題点、何が課題提案を分かりやすく、1年生メンバー、ボランティア先の方に伝えることができている。 <傾聴力> ・1年生メンバー、ボランティア先の方、教員の話に適切なタイミングで相対し、うなずきをしなが聴き、相手の言いたいことを整理し、確認しながら聴くことができる。具体的には、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を実践することができている。 <柔軟性> ・1年生、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても、内容を整理し、どうしたら同じ方向で前進できるか調整することができる。 <状況把握力> ・1年生の支援者であるという立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握できている。 <規律性> ・実習を通して、一般社会でのルールや慣習を守る行動ができている。 <ストレス耐性力> ・活動の中で、ストレスを感じる出来事や自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる行動ができている。		
				②			
				③			
				④			
				⑤			
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>1年生の実習を目的・目標を達成するために、意見を引き出し、何が問題かの論点を整理し、問題解決への調整を図る行動ができている。</p> <p>1年生の作業手順を図式化して、1年生の実習を円滑に進めるPDCAの各段階でアドバイスとチェックをかけ、常に効果的な支援ができている。</p> <p>1年生の実習を円滑に進めるコミュニケーションスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を1年生、実習先の方にも実践することができている。</p> <p>1年次に修得したpisa型学力、四大精神、社会人基礎力と比較して、全てが更に発揮していることをワークシートに具体的に記述できている。</p> <p>実習でpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮して、実習の目的・目標に到達できたか、そして能力はどれだけ育成できたか、1年生がpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を明確に発表できるように支援することができている。</p> <p>・ から 全てが、毎週の授業で実行されている・・・S ・ から 全てが、毎週ではないが実行されている・・・A</p>	<p>1年生の実習を目的・目標を達成するために、意見を引き出し、何が問題かの論点を整理する行動ができている。</p> <p>作業手順を図式化して、1年生の実習を円滑に進めるPDCAの各段階でアドバイスとチェックをかけることができ、時々効果的な支援ができている。</p> <p>1年生の実習を円滑に進めるコミュニケーションスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を1年生には実践することができている。</p> <p>1年次に修得したpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)と比較して、3項目すべてで発揮していることをワークシートに記述できている。</p> <p>実習でpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)をどのように発揮して、実習の目的・目標に到達できたか、そして能力はどれだけ育成できたか、1年生がpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神のいずれかを明確に発表できるように支援することができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<実習を円滑に進めるスキルを学ぶ> ファシリテーションとは コミュニケーション力とは アイスブレイキングの方法 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮の実践報告	講義 ワークシートにまとめ、ペアワークにより理解を深める。	・教育内容の から を口頭で伝えることができる。 ・教育内容の ~ をワークシートに整理して記述できている。	(予習) ・ファシリテーションとは何か。 ・コミュニケーション力とは何か。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を振り返る。 (復習) ・本時の課題を行う。 ・学修内容の を確認して、ワークシート(PCR)に整理して記述する。	30	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
2週 /	<1年生への支援項目を学ぶ> pisa型学力 四大精神 社会人基礎力 実習マナー 健康、危機管理 ・リーダーとして1年生へ自己紹介 ・アイスブレイキングで緊張感を取り除くには	実習 リーダーとなる学生は1年生に質問をして理解を深める ファシリテーションを実践する。	・1年生のワークシートに学習内容を理解するために、支援した内容が具体的に記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年アウトリーチ の課題等を確認する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力について、1年生に伝えられるように整理する。 (復習) ・課題発見し、解決する提案ができるようする。 ・学修内容の を確認して、ワークシート(PCR)に整理する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 柔軟性 ストレスコントロール力
3週 /	<実習場所の実態が把握できるように1年生を支援する> アイスブレイキングの実践 実習先の方と学生の信頼関係の構築 実習先の活動内容の把握 実習先から期待されていることの把握 pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮法	実習 1年生が実習先の方より、実習場所の概要、課題の説明をうける。 ・1年生がより理解を深められるようにファシリテーションを実践する。	・1年生が実習先の実態を把握するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・第2週の内容を熟知して、1年生に理解してもらうにはどんな方法があるか考える。 (復習) ・本時の課題をワークシート(PCR)に整理する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 柔軟性 ストレスコントロール力
4週 /	4週と5週は連続実施 <実習場所を回遊調査して課題発見できるよう1年生支援> 1年生が課題を発見できるように、ファシリテーションを実践	実習 1年生の回遊調査が円滑に進むように、ファシリテーションを実践する。	・1年生が回遊調査から課題を発見するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習計画書から課題を発見し、解決法を考える。	30	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 柔軟性 ストレスコントロール力
5週 /	1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 1年生の回遊調査が円滑に進むように、ファシリテーションを実践する。	・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
6週 /	<実習の目的・目標を明確にする> 1年生の回遊調査の振り返り、実習の目的と達成目標が円滑に設定できる支援 1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・1年生のディスカッションが円滑に進むように、ファシリテーションを実施する。	・1年生が回遊調査から課題を発見するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・pisa型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の発揮法を1年生にどのように支援するか考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
7週 /	<1年生が作成する実習計画を図式化する> 1年生の実習計画を支援 1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・1年生のディスカッションが円滑に進むように、ファシリテーションを実施する。 ・複数の実施計画案から実習計画を図式化して、最も良い1つに絞りこむ。	・1年生が作成する実習計画書から課題を発見するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える。 ・1年次に実施した実習計画書を確認して、問題点などを確認する。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
8週 /	8週と9週は連続実施 <1年生の実習1回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・計画的に実習が進められている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮の支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に具体的に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	8週と9週は連続実施 <1年生の実習1回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・計画的に実習が進められている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮の支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に具体的に記述する。	30	発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10週 /	10週と11週は連続実施 <1年生の実習2回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に具体的に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力
11週 /	10週と11週は連続実施 <1年生の実習2回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に具体的に記述する。	30	発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12週 /	12週と13週は連続実施 <1年生の実習3回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握しておく。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力
13週 /	12週と13週は連続実施 <1年生の実習3回目支援> 1年生の実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 計画に基づいた実習の実施 1年生のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかPDCAによりチェック、修正する。 ・1日の実習の成果を発表する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習内容を把握しておく。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述する。	30	発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14週 /	<1年生の成果発表を支援> 1年生の発表内容について、質問、アドバイスを実施 1年生のpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神についてわかりやすく伝えられるように支援する。 ・発表を評価する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年次の発表の内容の課題について振り返る。 ・プレゼンテーション技法について確認する。 (復習) ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に具体的に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15週 /	<1年生の全体成果発表を支援> 1年生の発表内容について、質問、アドバイスを実施 1年生のpisa型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の発揮への支援 リーダーとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮	実習 ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)についてわかりやすく伝えられるように支援する。 ・発表を評価する。	・1年生の実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。	(予習) ・1年次の発表の内容の課題について振り返る。 ・プレゼンテーション技法について確認する。 (復習) ・1年生の発表は、リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシート(PCR)に記述する。	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力